

長期モニタリング計画 評価項目の評価シート（イメージ）

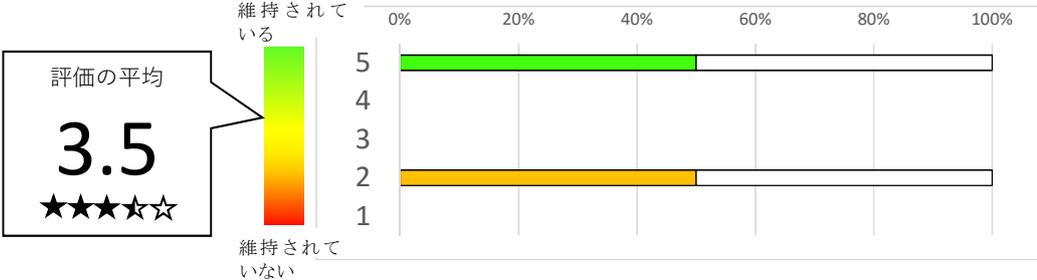
資料 2-5

※以下はイメージであり、実際の評価とは異なります。

評価項目	Ⅲ 遺産登録時の生物多様性が維持されていること。			
評価項目選定理由	世界自然遺産として登録された基準(クライテリア(x)生物多様性)である。			
評価案の作成主体	事務局とりまとめ(海域WG、エゾシカ・ヒグマWG、河川工作物AP)			
評価年月	2019年●月			
対応するモニタリング項目とその評価	No.	モニタリング項目	個別評価	数値化
	3	アザラシの生息状況の調査		4
	4	海域の生物相、及び、生息状況(浅海域定期調査)		4
	6	ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査		4
	8	知床半島全域における植生の推移の把握(森林植生/海岸植生/高山植生)		2
	9	希少植物(シレットコスミレ)の生育・分布状況の把握		5
	11	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況の把握		3
	12	陸生鳥類生息状況の把握		4
	13	中小型哺乳類の生息状況調査(外来種侵入状況調査含む)		1
	14	広域植生図の作成		1
	16	知床半島のヒグマ個体群		3
	18	淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオショロコマの生息状況(外来種侵入状況調査含む)		2
	23	シマフクロウのつがい数、標識幼鳥数、死亡・傷病個体と原因調査		5
	24	年次報告書作成による事業実施状況の把握		5
	25	年次報告書作成等による社会環境の把握		5
	③	「北海道水産現勢」からの漁獲量変動の把握		5
	⑧	オジロワシ営巣地における繁殖の成否、及び、巣立ち幼鳥数のモニタリング		5
⑪	シャチの生息状況の調査		3	
評価	<p>評価の平均 3.59 ★★★★★</p> <p>維持されている</p> <p>維持されていない</p>			3.59
	<p><評価の理由> (各WG等が行った個別項目の評価について、その理由やその他特記事項等を簡潔に記載。)</p>			
今後の遺産地域の管理の方向性に関する意見	<p>(調査手法等へのコメントではなく、評価結果を踏まえた遺産地域の管理の方向性等についての助言等があれば、適宜記載。)</p>			

長期モニタリング計画 評価項目の評価シート（イメージ）

※以下はイメージであり、実際の評価とは異なります。

評価項目	V 河川工作物による影響が軽減されるなど、サケ科魚類の再生産が可能な河川生態系が維持されていること。			
評価項目選定理由	ユネスコ／IUCNの調査報告書において勧告されている。（勧告7、9）			
評価案の作成主体	河川工作物AP			
評価年月	2019年●月			
対応するモニタリング項目とその評価	No.	モニタリング項目	個別評価	数値化
	17	河川内におけるサケ類の遡上数、産卵場所および産卵床数モニタリング		5
	18	淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオショロコマの生息状況（外来種侵入状況調査含む）		2
評価	 <p>評価の平均 3.5 ★★★★☆</p> <p>維持されている 0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>5 4 3 2 1</p> <p>維持されていない</p>			3.5
	<p><評価の理由> （各WG等が行った個別項目の評価について、その理由やその他特記事項等を簡潔に記載。）</p>			
今後の遺産地域の管理の方向性に関する意見	（調査手法等へのコメントではなく、評価結果を踏まえた遺産地域の管理の方向性等についての助言等があれば、適宜記載。）			

長期モニタリング計画 評価項目の評価シート（イメージ）

※以下はイメージであり、実際の評価とは異なります。

評価項目	VII レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること。			
評価項目選定理由	知床世界自然遺産地域管理計画に記載されている。			
評価案の作成主体	適正利用・エコツーリズムWG（海域WG、エゾシカ・ヒグマWGと一部調整）			
評価年月	2019年●月			
対応するモニタリング項目とその評価	No.	モニタリング項目	個別評価	数値化
	6	ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査		4
	15	ヒグマによる人為的活動への被害状況		1
	19	適正利用に向けた管理と取組		3
	20	適正な利用・エコツーリズムの推進		3
	21	利用者数の変化		5
	24	年次報告書作成による事業実施状況の把握		5
	25	年次報告書作成等による社会環境の把握		5
評価	<p>評価の平均 3.71 ★★★★☆</p> <p>維持されている 0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>維持されていない</p>			3.71
	<p><評価の理由> (各WG等が行った個別項目の評価について、その理由やその他特記事項等を簡潔に記載。)</p>			
今後の遺産地域の管理の方向性に関する意見	(調査手法等へのコメントではなく、評価結果を踏まえた遺産地域の管理の方向性等についての助言等があれば、適宜記載。)			

長期モニタリング計画 評価項目の評価シート（イメージ）

※以下はイメージであり、実際の評価とは異なります。

評価項目	Ⅷ 気候変動の影響もしくは影響の予兆を早期に把握できること。			
評価項目選定理由	知床世界自然遺産地域管理計画に記載されている。			
評価案の作成主体	事務局とりまとめ（海域WG、エゾシカ・ヒグマWG、河川工作物AP）			
評価年月	2019年●月			
対応するモニタリング項目とその評価	No.	モニタリング項目	個別評価	数値化
	1	衛星リモートセンシングによる水温・クロロフィルaの観測	●	1
	2	海洋観測ブイによる水温の定点観測	●	5
	3	アザラシの生息状況の調査	●	3
	8	知床半島全域における植生の推移の把握（森林植生/海岸植生/高山植生）	●	5
	9	希少植物（シレットコスミレ）の生育・分布状況の把握	●	5
	14	広域植生図の作成	●	1
	18	淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオショロコマの生息状況（外来種侵入状況調査含む）	●	5
	26	気象観測	●	1
	①	航空機、人工衛星等による海水分布状況観測	●	5
	⑥	トドの日本沿岸への来遊頭数の調査、人為的死亡個体の性別、特性	●	5
⑩	シャチの生息状況の調査	●	3	
評価	<p>評価の平均 3.55 ★★★★☆</p> <p>維持されている 0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>維持されていない</p>			3.55
	<p><評価の理由> (各WG等が行った個別項目の評価について、その理由やその他特記事項等を簡潔に記載。)</p>			
今後の遺産地域の管理の方向性に関する意見	<p>(調査手法等へのコメントではなく、評価結果を踏まえた遺産地域の管理の方向性等についての助言等があれば、適宜記載。)</p>			